



うおづ

社協だより

Vol.162

H30

11



特集

自分らしく働きたい

障がいのある人たちの『働く』を支えるしくみ

目次

魚津市社協フードネーション始動…P4
サロン&ボランティア紹介……………P5
募金箱コンクール入賞者発表……………P6



社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
TEL (0765) 22-8388・FAX (0765) 22-8390
E-mail: info@uoshakyo.net (代表)



特集 自分らしく働きたい

障がいのある人たちの

「働く」を支えるしくみ

人が働く理由はいろいろあります。「収入のため」「自己実現のため」、そして「人の役に立つため」。それは、障がいのある人もない人も変わりません。行政も、事業者も、住民も障がいのある人もない人も自分らしくこの街で暮らしていこうという考え方を大前提に、「働く」を広い意味でとらえ、地域の中で活躍する場を創造していくことが求められています。そのためのしくみの一部をご紹介します。



「一般就労」と「福祉的就労」

「一般就労」とは、企業や公的機関などに就職して、労働契約を結んで働く就労形態です。それに対して、障害福祉サービスを利用して働く方法を「福祉的就労」といいます。

一般就労を支えるしくみ

◆ジョブコーチ

(職場適応援助者)による支援

ジョブコーチが、障がいのある人の働いている職場に出向き、仕事に適應するための方法や、仕事をする上で円滑なコミュニケーションをとるための方法などを本人や事業主と相談しながら、具体的な支援を行います。支援期間や支援回数などは課題に応じて設定されます。(図1)

◆トライアル雇用

障がいのある人の中には、仕事の経験が乏しく、「仕事に耐えられるだろうか」という不安を持っている方も少なくありません。一方、企業などでは、障がい者雇用の経験がないために雇い入れることに躊躇することもあります。そこでまずは短期の試用雇用(トライアル雇用)で仕事や職場を経験した後、一般雇用への移行を目指します。

働く場は企業だけじゃない

企業とは違う働き方で障がいのある人たちが収入を得ることのできるのが障害福祉サービスによる福祉的就労です。福祉的就労では、作業時間、作業内容などを一人一人に合わせて働くことができます。

事業所では、パンや菓子製造、箱折や製品の袋詰めなど企業から依頼された仕事、織物などのオリジナル商品づくりなど、障がいのある人が自分の好きなことや得意なことを通じた仕事をしています。最近では農業と福祉の連携による障がい者の働く場にも注目が集まっています。

障がいのある人の「働きたい!」 雇用主の「働いてほしい!」 をサポートします。

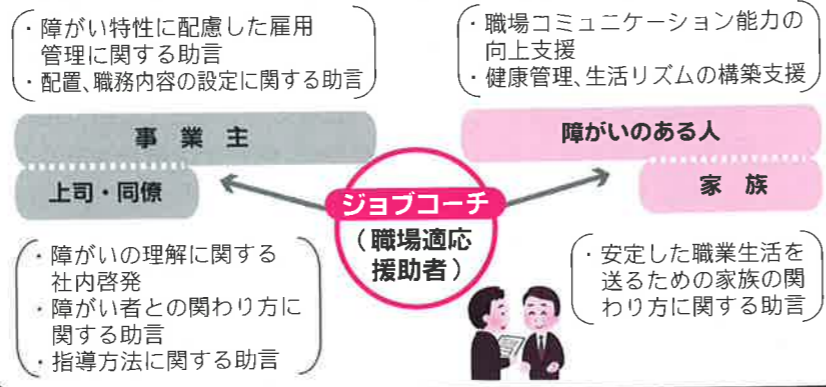
~新川地区(魚津市含む)を担当しています~

新川障害者就業・生活支援センター
(新川むつみ園内) ☎ 78-1140

障害者就業・生活支援センターでは、専門の支援員が障がいのある方からの働くための相談に応じ、就業面だけでなく生活面からも一体的に支援を行っています。また採用するための方法や職場の困り事や人間関係の対応など、事業主(雇用側)からの相談にも応じています。お気軽にご相談ください。



図1 ジョブコーチによる支援のしくみ



一般就労

東部デイサービスセンター



濱田ひかりさん

にいわ総合支援学校高等部在学中、先生方が職場開拓に現在の職場に就職しました。東部デイサービスセンターで障がいのある人を雇用するのは初めてでしたが、本人、ジョブコーチ、デイサービス職員と一緒に本人の仕事のしやすい環境づくりや、作業のマニュアル化などを試行錯誤で取り組んでいきました。

それから10年。今では利用者へのお茶出し、おしぼり作り、ベッド清掃などの仕事がスムーズに出来るようになり、職場



の仲間も濱田さんが仕事をしやすい環境を自然に作れるようになってきたといいます。野崎所長は「一緒に働く仲間として、お互いが負担にならないようなやり方を考える。そのために障がいのある人の就労を支援してくれる関係機関と連携することが大切」と話します。濱田さんは「仕事は大好き。働いたお金で化粧品や洋服を買います!今は職場の人たちとの忘年会が楽しみ。失敗する時もあるけど、ありがとうと言われると元気になれる」と笑顔で働くことの楽しさを語りま

みんなと暮らして 働いていきます

福祉的就労

わかくさランチ



谷 亮真さん 加藤 麻理さん

特に谷さんはフライの衣をつけることが、加藤さんは千切りなど包丁使いが絶品です。すべて手作りで作られるお弁当は、店頭販売の他、市役所や病院職員の方に配達され、お腹と心を満たしてくれま

「みんながお弁当をおいしかったと言ってくれることが一番嬉しい」と二人は笑顔で語りま

す。そして谷さんは「お母さんのためにいっぱい給料を稼ぎたい」、加藤さんは「好きなダンスで着る服を買いたい」と働く意欲に満ち溢れていました。



わかくさランチは、障がいのある人たちの生活支援をしているNPO法人わかくさ協会が運営するお弁当屋さんです。まもなく10周年を迎えるわかくさランチを支えるのは、開店当初から働く谷さんと加藤さん。毎日約70食のお弁当を作るために自分たちで作業内容を確認し、それを黙々とこなしていく姿はまさに職人です。

魚津市社協 フードネーション始動!!

～生活緊迫ニーズへの緊急食料支援～

福祉総合相談支援センターでは、地域の方の暮らしの中の困りごとなど様々な相談を受け、支援を行っています。昨今では、何らかの事情を抱え生活に困窮している方からの相談も増えています。



フードネーションとは (food: 食料 donation: 提供)

生活に困窮している方々を食料提供によって支える緊急対応支援です。

相談者としっかり向き合い面談をさせていただいた上で、支援員が必要だと判断したケースに対しての食料支援となります。食料提供支援が全てではなく、相談者の生活の立て直し・経済的自立・社会生活自立に向け継続的に関わらせていただく中での有効的な支援の一つとなります。

その人らしく、幸せに暮らしていけるように…明日につなげる命のための大事な支援です。

フードネーションのしくみ



- ① 相談者からの相談を受け面談し、フードネーションが必要か判断をします
- ② フードネーション協力登録者(企業・個人等)へ食料提供依頼(提供するものが無ければお断りください)
- ③ 依頼を受けたフードネーション協力登録者のもとへ支援員が食料品を預かりに伺います
- ④ 支援員が相談者に食料品を提供するほか、相談者への継続的支援を行います

フードネーション個人・企業協力登録者募集!



フードネーションのしくみをご理解いただき食料品提供していただける方を募集いたします。お問い合わせは下記まで。

提供例

- ① お米(古米)
- ② 野菜・果物
- ③ 素麺・うどんなどの乾麺
- ④ 缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ⑤ カレールー・シチューの素
- ⑥ のり、お茶漬け・ふりかけ
- ⑦ 冷凍食品
- ⑧ 調味料(醤油、食用油、味噌など)

(有)さんせんさん 企業協力ありがとうございます

ジャンプ・米沢亭・彩菜副菜を運営しているおしゃれな企業さんです。8月に登録頂き、快く協力して頂いていることに感謝いたします。今後とも宜しくお願いいたします。



【お問い合わせ】 福祉総合相談支援センター TEL 23-0899



サロンの一番の楽しみはみんなとの雑談タイムです。季節の話や家族のこと…あつという間に時間が過ぎていきます。

さわやかサロンはみんな仲が良く、会場まで移動に困った会員がいたら、送り迎えをするなど、お互いさまの支え合いを大切にしている素敵なサロンです。

さわやかサロン(会員17名)は、天神野新公民館で年11回開催しています。活動内容は接骨師会の方に介護予防や転倒予防のための運動指導をしてもらったり、年1回の日帰り旅行、忘年会を近くの温泉で行ったりしています。

大きな行事だけでなく、みんなで手芸作品を作り地区文化祭で展示したり、みんなで歌を歌ったりしています。写真は魚津市社協本元会長のギターで懐かしい歌を歌っている様子です。



さわやかサロン

(天神地区 天神野新区)

代表 関口 英子

※NICE TV「まちかど魚津」で12月中旬頃より市内のサロン紹介を放送します。どうぞご覧ください。

うおづのボランティアさん紹介

一緒に笑顔になれる時間を
つくりたい

竹内 ケイ子さん

(おはなしの会サン・フラワー会代表)



子ども向けから高齢者向けまで
いろいろなお話を準備しています。



どんな活動を行っていますか？

保育園や高齢者施設で、読み聞かせ・朗読・歌・手遊びなどを行っています。人形や紙芝居を使い、お話を楽しんでもらえる工夫をしています。



活動を始めたきっかけは？

15年程前、近所の保育園から絵本の読み聞かせをしてほしいとお願いされました。それがきっかけで、個人で読み聞かせの活動を行っていましたが、その後仲間と一緒に、「サン・フラワー会」を立ち上げました。



ボランティアのやりがいとは？

自分ができることで他の人も楽しんでくれることはとても嬉しいです。何年も訪問させていただいている施設では、顔なじみになったり、子どもたちの成長を感じられたり…。上手な芸ではなくても相手を思い、自分たちが楽しく活動すれば、お互いに元気になれます。それが一番の魅力です。

サン・フラワー会では一緒に活動していただける方を募集中！

ボランティアをやってみたい！興味がある！という方まずはお電話を
魚津市ボランティアセンター ☎22-8388

子どもたちの募金箱コンクール 受賞作品決定



赤い羽根共同募金への関心と理解を深めてもらう目的で、今年度も「子どもたちの募金箱コンクール」を開催しました。今年の応募は193作品。子どもたちのやさしい気持ちのつまった作品が集まりました。みなさまご応募ありがとうございました。

受賞者のみなさま、おめでとうございます。

👑 魚津市長賞	よつば小学校5年	みやさか まい 宮坂 葛さん
👑 魚津市共同募金委員会賞	よつば小学校4年	きょうごくあすか 京極明日華さん
👑 魚津市社会福祉協議会長賞	よつば小学校2年	みた ちさとさん 三田ちさとさん
👑 特別賞	道下小学校3年	みたに まさき 三谷 真輝さん
👑 入選	よつば小学校6年	いくた こうすけ 生田 康介さん
👑 入選	住吉小学校4年	うちだ あらた 内田 新大さん
👑 入選	道下小学校2年	はら ゆうや 原 侑矢さん
👑 入選	よつば小学校1年	のさわ はるひと 野澤 遥仁さん



魚津市長賞
みやさかまい
宮坂葛さん

ミラタンが観覧車を回している楽しい募金を作りました。観覧車にお金を入れて回すしくみを考えるのが難しかったです。

うおづのまちをよくする運動 ～赤い羽根共同募金運動実施中～ みなさまのご理解、ご協力よろしくお願ひします

参加者募集

旧百楽荘でゆとりの時間を有効に活用しませんか。どなたでも参加できます。

おたっしヤカフェ

美味しいコーヒーを飲みながら、楽しいひと時を過ごしましょう

日時 11月17日(土) 10:00～15:00

メニュー コーヒー(ケーキ付)200円

お茶(和菓子付)200円



おいしいコーヒー・お茶の入れ方講座

日時 11月17日(土) 13:00～

講師 東生園(経田中町) 朝野修一氏



フラワーアレンジメント教室

手作りでお正月を飾ってみませんか?

造花なのでお手入れ不要!

日時 12月11日(火)13:00～

費用 2,000円

講師 SACHI 10iro(釈迦堂) 小泉悠子氏

定員 15名

締切 11月22日(木)

※ただし定員になり次第締切らせていただきます



【ご予約・お問い合わせ】旧福祉センター百楽荘 ☎24-3241

編集後記

濱田ひかりさんが毎日つけている業務日誌。仕事が終わると、その日の振り返りを行い、次回気をつける事を書き留めています。

私自身も、次に繋がるよう一日を振り返る事は大切なことだと改めて感じました。(岡田)

【点字版「うおづ社協だより」について】

当協議会では、点字サークル「アイサポート Kirara」の協力を得て、視覚障がいをお持ちの方のために本紙を点訳したものを発行しています。お問い合わせは、当協議会総務経理係(☎22-8388)まで